

## 朝の健康チェックについてのお願い

北九州市で連日、新型コロナウイルス感染者が出ていることについて、報道されており、大変危惧されていることと思います。

学校では、児童が校舎に入る前に、毎朝の健康チェックを行っています。この健康チェックに関し、その手順を示しながら、お願いしたいことがあります。

まず、児童は下足前で養護教諭や教務主任などに健康チェック表を見せます。

各項目に異常がなく、レ点のチェックと保護者印があり、表の検温が36.9℃までの児童は、熱がないと考え、教室にあげます。

各項目に保護者のチェックがない場合や印もれの児童、37℃以上熱のあると書かれた児童は、再度検温をします。検温結果で、36.9℃以下であれば、教室にいかせます。再度37℃以上あれば、保護者に連絡をとらせていただく場合があります。

ここでお願いですが、**家庭での検温で、37.5℃以上であれば、登校をご遠慮ください。また、37℃以上の熱があれば、事前に学校に連絡を入れていただければ助かります。**平熱が高い児童もいます。ただし、このような時ですので、念には念を入れさせてほしいです。大変忙しいとは思いますが、よろしくお願いします。

発熱やかぜ症状があれば、別室において対応を行います。保護者に連絡を取り、早退の措置を含めて、検討します。

学校でクラスターを起こさないため、また児童やその家族の健康や命を守るためだと考えています。朝の忙しいときとは思いますが、ご配慮よろしくお願いします。

児童が下校後は、教室の机やイスなど、児童が触ったと思われる箇所は、消毒を行っています。トイレは、現時点では、職員が清掃・消毒をしています。

休み時間に使った鉄棒などの遊具やボールなども、消毒をしています。

## 朝の健康チェックの様子



下足前において、職員が児童のカバンにつけている健康チェック表を確認している様子

## トイレの様子



足型を使い、密を避ける工夫をしている様子